

光星、青森山田 決勝へ

【準決勝・下山学園 八学光星】三回八学光星が死一塁、嶺崎洗大が右中間を破る三塁打を放ち、2-1と勝ち超す。六戸メイプルスタジアム



主力温存 光星快勝

2回以降は手堅く

ハイライト

八学光星は主力選手を温存し、バクアツツンバーが先発出場。初回に先制点を許すが、二回以降は好機でまたも勝ち越しを見せつけた。決勝ながらも、仲井宗基監督は「上のレベルを目指していくために、できると思っただけでできていなかった。厳しい表情をのぞかせた。」

普通は代打や代走を出場する選手の下上げを図ったが、序盤からチームに硬さが見えた。下山学園の初回無死一塁、レフト方向に飛んだゴロの打球を嶺崎洗大が捕球ミス、続く打者ピットを浴び、あつとと先制点を奪われた。その裏の攻撃では、盗塁失敗で好機をつくれず、近年

関、気を吐く5安打

「自分のせいで先制さ押し込まれる苦しい立ち上がりとなった。それでも、二回に同点に追い付くと、三回に築城して挑んだが、試練もあった。これからはもう一歩放つて逆転に成功。五回には連打で、一気に突き放すなど、持ち前の爆発力で一気に試合の流れを引き寄せた。」

【まよりの試合】

【八学光星】対【下山学園】
▽先発投手 八学光星 10・00
▽先発投手 下山学園 12・30
▽決勝 青森山田 12・30

東北大会出場権獲得

青森県 春季高校野球

第73回春季東北地区高校野球青森県大会第8日は23日、六戸メイプルスタジアムで準決勝2試合を行った。八学光星は下山学園に8-2で快勝。青森山田は弘前東を七回コールドで下した。勝利した両校は、東北大会(6月9日開幕、弘前はるか夢球場ほか)への出場権を獲得した。

最終日は24日、同スタジアムで、東北大会への残り1枠を懸けた3位決定戦と決勝を行う。(取材班)

準決勝

下山学園	100	000	100		2
八学光星	011	030	12	×	8

(下) 磯野、三浦、古川、佐々木一高橋、朝田、島
(八) 中嶋、及川、秋元一和田
▽三塁打 嶺崎、新谷翔 (八) ▽二塁打 関3 (下) 新谷翼 (八)
▽暴投 磯野(下) 中嶋 (八)
▽試合時間=2時間26分
(球審=小西、塁審=梅田、小松、小倉)

【評】八学光星は1-1で迎えた三回2死一塁、嶺崎が右中間を破る三塁打で勝ち越しに成功。五回には新谷翔のタイムリー三塁打で3点を追加し、その後も得点を重ねてリードを保った。

下山学園は、関が2塁打3本を含む5安打で気を吐いたが、逸機が目立ち、2点にとどまった。

青森山田	114	000	4		10
弘前東	000	000	0		0

(7回コールド)
(青) 高橋一沖野
(弘) 新岡一澤
▽本塁打 田中(青)
▽三塁打 藤川(青) ▽二塁打 川久保(青)
▽暴投 新岡(弘)
▽試合時間=1時間37分
(球審=立花、塁審=木下亮、中村博、大森)

【評】青森山田は三回までに6点を挙げる猛攻を見た。七回には先頭の田中がソロ本塁打。敵失などに乗じてさらに3点を追加し、試合を決めた。

弘前東は初回、失策から失点。打ってもわずか4安打と反撃の糸口をつかめなかった。